

ERS シンポジウム：関東大震災 100 周年に向けて

来年 2023 年は関東大震災 100 周年となります。少子高齢化する社会の中で、災害から社会や生活を守るには人々の意識の変革も必要となります。東京大学生産技術研究所の ERS（災害に強い都市を支える工学研究グループ）では、関東大震災 100 周年に向けたシンポジウムを企画しました。

前半を関東大震災で大被害となった火災と防耐火のこれからについて専門家との討論会を行い、午後は ERS グループのメンバーを含めたより広い防災に関するセミナーを行います。どうぞご参加ください。

川口健一(ERS 代表)

日時：2022 年 12 月 5 日(月)9:00～

場所：東京大学 駒場 II キャンパス An 棟コンベンションホール

[アクセス - 東京大学生産技術研究所 \(u-tokyo.ac.jp\)](https://www.u-tokyo.ac.jp/ers/access)

[キャンパス・施設紹介 - 東京大学生産技術研究所 \(u-tokyo.ac.jp\)](https://www.u-tokyo.ac.jp/ers/campus-facility)

参加費：無料（参加は事前に下記よりご登録ください。オンライン視聴も可）

プログラム(以下敬称略)

午前 9:00～12:00

午前の部：関東大震災の火災被害と都市の防耐火の今までとこれから

司会：川口健一

- ・ 9:10～9:50 武村雅之（名古屋大学特任教授）
「関東大震災でなぜ東京は最大の被害を出したのか？－大火災の原因とその後」
- ・ 9:50～10:30 原田和典（京都大学教授）「震災時からの約 100 年間の防火の歴史を振り返る」
- 休 憩
- ・ 10:40～12:00 討 論
武村雅之、原田和典、越山健治（関西大学教授）、加藤孝明（東京大学教授）
- 昼休憩

午後 13:00～17:00

午後の部：マルチハザードとしての大震災と今、そしてこれからの展望

司会：清田 隆

- ・ 13:00～13:30 越山健治「復興研究がもたらす新たな都市防災対策」
- ・ 13:30～14:00 加藤孝明
「大都市大震災を俯瞰する－関東大震災 100 年を迎えるにあたって－」
- ・ 14:00～14:30 腰原幹雄「木造社寺建築と戸建住宅の耐震性－100 年の変化－」
- ・ 14:30～15:00 川口健一「非構造材の安全性と建築のシェルター機能」
- 休 憩
- ・ 15:15～15:45 清田 隆「関東大震災による地盤災害と現在のリスク」
- ・ 15:45～16:15 目黒公郎「国難級災害対策における最重要課題と解決へのヒント」
- ・ 16:15～16:45 沼田宗純
「関東大震災から現在に共通する教訓を踏まえたこれからの人材育成
～東京大学生産技術研究所附属災害対策トレーニングセンター(DMTC)の試み～」
- ・ 15:45～17:00 閉会

対面参加登録及び問い合わせ先；takafu@iis.u-tokyo.ac.jp（担当 坂下）

以上